

第2回 医用質量分析認定士 講習会

近年、臨床微生物、臨床化学の分野を中心に、質量分析技術の臨床検査応用が進んでいます。日本医用マススペクトル学会では質量分析技術の臨床応用への基盤を共有することを目的に平成25年度より認定士制度がスタートしました。

日時：2014年10月18日（土）第39回日本医用マススペクトル学会年会翌日

開始時刻：午前10：00 終了時刻：午後2：40（予定）

場所：三井ガーデンホテル千葉（<http://www.gardenhotels.co.jp/chiba/>）

講義1：質量分析の基礎（用語説明、原理、機種など） 中西豊文（大阪医科大学）

講義2：質量分析技術で変わる臨床化学検査 千葉仁志（北海道大学）

ランチョンセミナー（サーモフィッシュ・サイエンティフィック株）

「新生児マス・スクリーニングにおける質量分析の基礎とその応用～先天代謝異常症の赤ちゃんのQOLをあげるために～」 中島英規（（独）国立成育医療研究センター）

講義3：臨床細菌検査における質量分析の役割と今後の展望

菊池 賢（東京女子医大）

講義終了後、医用質量分析認定士制度の概要説明、小試験が実施されます。

受講料 5,000円（資料代を含む）

（10月16日、17日開催の第39回日本医用マススペクトル学会年会登録者は3,000円）

年会ホームページ

（http://www.m.chiba-u.ac.jp/class/moldiag/jsbms39/jsbms39_index.html）に受講申し込み方法など関連情報を掲載します。

年会・講習会事務局 千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1 千葉大学医学部本館1F

TEL:043-226-2170 FAX:043-226-2169

E-mail : jsbms39.gim.chiba@gmail.com

＜認定要件＞

1. 日本医用マススペクトル学会会員であること。
2. 日本医用マススペクトル学会主催の医用質量分析認定士講習会に参加し、筆記試験に合格すること。筆記試験は講習会における講義内容から出題する。